

補助事業番号： 19-1-142

補助事業名： 平成19年度 一般戦災死没者の慰霊補助事業

補助事業者名： 社団法人 日本戦災遺族会

1. 補助事業の概要

(1) 実施内容

ア. 慰霊事業

(ア) 姫路合同慰霊祭

10月26日、(財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会と共催で姫路市内太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔前で開催した。

(イ) 地方慰霊祭

地方慰霊祭は、13市町で同市町戦災遺族会と共催で開催した。開催都市名、実施期日、場所は次のとおり。

都市名	実施期日	場所
a. 各務原市	6月17日	各務原市中央公民館
b. 浜松市	6月18日	浜松市戦災被爆者慰霊碑前
c. 岡山市	6月28日	岡山市 蓮昌寺
d. 静岡市清水	6月29日	静岡市清水区 慈雲寺
e. 高松市	7月 3日	高松市戦災犠牲者慰霊堂
f. 徳島市	7月 4日	徳島市内ウェルシティ徳島
g. 岐阜市	7月 9日	岐阜市文化センター
h. 和歌山市	7月 9日	和歌山市戦災死者供養塔前
i. 大垣市	7月22日	大垣市笠木町戦災死没者慰霊碑前
j. 松山市	7月26日	松山市平和記念広場
k. 一宮市	7月28日	一宮市大乘公園内殉難碑前
l. 大牟田市	9月22日	大牟田市大牟田斎場
m. 海南省下津町	9月24日	海南省下津町 長保寺本堂

イ. 慰霊に関する講演会の開催

(ア) 講演会

慰霊に関する講演会を9ヶ所で開催した。実施した市町、期日等は次のとおり。

a. 各務原会場(各務原市民会館) 6月17日

講師:平光 嘉男(戦災体験者)、宇都宮 義長(有識者)、外

b. 浜松市会場(浜松市福祉交流センター) 6月18日

講師:川瀬 正司(戦災体験者)、小原 松養(有識者)

- c. 静岡市清水会場(市内慈雲寺別館) 6月29日
講師:大貫 輝行(有識者)、山田 晃(市戦災遺族会副会長)、外
- d. 高松市会場(高松市民文化センター) 7月3日
講師:小谷 雪香(市戦災遺族会副会長)、宇都宮 義長(有識者)
- e. 岐阜市会場(岐阜市文化センター) 7月9日
講師:宇野 武司(市戦災遺族会副会長)、小原 松養(有識者)、外
- f. 大垣市会場(市内笠木町護国霊苑内慰霊碑前広場) 7月22日
講師:中野 義一(有識者)、安田 寛(市戦災遺族会副会長)
- g. 一宮市会場(市内大乘公園殉難碑前) 7月28日
講師:古内 宏卓(戦災体験者)、石川 勇(有識者)、外
- h. 大牟田市会場(大牟田市大牟田斎場) 9月22日
講師:永松 嘉夫(戦災体験者)、中島 嗣郎(有識者)外
- i. 海南下津町会場(海南市下津町交流センター) 9月30日
講師:田中 久(副会長)、中村 直文(有識者)、外

(イ)語りべ会

慰霊に関する語りべ会を浜松市内の15ヶ所で開催した。実施した場所、期日等は次のとおり。

- a. 浜松城公園 6月18日
講師:河合守次(戦災体験者)、伊熊 佐(戦災体験者)、柴田正子(戦災体験者)
- b. 市立南小学校 7月3日
講師:伊熊フジ子(戦災体験者)、立川喜代子(戦災体験者)、中村哲二(戦災体験者)
- c. 浜松復興記念館 8月9日
講師:伊熊 フジ子、中村 哲二、飯田 末夫(浜松市戦災遺族会)
- d. 浜松市復興記念館 8月12日
講師:柴田 正子、伊熊 佐、立川 喜代子
- e. 浜松復興記念館 8月15日
講師:中村 哲二、川瀬 正司、鵜飼 重雄
- f. 浜松復興記念館 8月19日
講師:鵜飼 重雄、立川 喜代子、伊熊 フジ子
- g. 市立東小学校 10月12日
講師:中村 哲二、立川 喜代子、鵜飼 重雄
- h. 市立白脇小学校 10月14日
講師:河合 守次、伊熊 フジ子、立川 喜代子
- i. 市立富塚西小学校 10月17日
講師:立川 喜代子、飯田 末夫、鵜飼 重雄

- j. 市立元城小学校 10月23日
講師:中村 哲二、奥村利彦(戦災体験者)、佐倉忠夫(戦災体験者)
- k. 市立竜禅寺小学校 10月25日
講師:奥村 利彦、佐倉 忠夫、中村 哲二
- l. 市立船越小学校 11月 1日
講師:上原 宏(戦災体験者)、奥村 利彦、佐倉 忠夫
- m.市立可美小学校 11月5日
講師:立川 喜代子、中村 哲二、上原 宏
- n.静岡大学教育学部附属浜松中学校 11月7日
講師:上原 宏、奥村 利彦、佐倉 忠夫
- o.市立南陽中学校 11月29日
講師:上原 宏、立川 喜代子、鶴飼 重雄

(2)成果

ア. 慰霊事業

一般戦災死没者の霊を慰め、再び戦災を繰り返さないよう平和への誓いを新たにし、広く国民の認識を深めるため、全国戦災都市14ヶ所で慰霊事業を実施した結果、多くの方々に慰霊事業の認識と理解を深めることができた。

(ア)姫路合同慰霊祭は、約650名の参加者を得て盛大に行われた。

(イ)地方慰霊祭は、次のとおり各市町において、盛大に行われた。

都市名	参加者数
a. 各務原市	95名
b. 浜松市	150名
c. 岡山市	51名
d. 静岡市清水	50名
e. 高松市	210名
f. 徳島市	130名
g. 岐阜市	85名
h. 和歌山市	140名
i. 大垣市	80名
j. 松山市	120名
k. 一宮市	115名
l. 大牟田市	40名
m. 海南省下津町	51名

イ. 慰霊に関する講演会の開催

(ア) 講演会

慰霊に関する講演会を9ヶ所で開催した。今次大戦の体験を的確に話すことにより、戦争の悲惨さ、愚かさ、平和の尊さを永く後世に伝える必要性を理解してもらうことができた。いずれの会場でも多くの熱心な人々が参加され、講演会の目的である啓発に多大の成果があった。

講演会は、次のとおり各市町において、多数の参加者を得て盛大に行われた。

都市名	参加者数
a. 各務原市	105名
b. 浜松市	100名
c. 静岡市清水	50名
d. 高松市	200名
e. 岐阜市	80名
f. 大垣市	60名
g. 一宮市	115名
h. 大牟田市	40名
i. 海南市下津町	43名

(イ) 語りべ会

慰霊に関する語りべ会を浜松市内の15ヶ所で開催した。今次大戦の空襲等の個々の体験を的確、具体的に後世に伝え、戦争の悲惨さと平和の尊さを地元の児童・生徒を中心に理解してもらうことができた。いずれの会場も盛況であり、語りべ会の目的である啓発に多大な成果があった。

会場	参加者数
a. 浜松城公園	407名
b. 市立南小学校	23名
c. 浜松復興記念館	161名
d. 浜松復興記念館	103名
e. 浜松復興記念館	140名
f. 浜松復興記念館	172名
g. 市立東小学校	104名
h. 市立白脇小学校	142名
i. 市立富塚西小学校	98名
j. 市立元城小学校	22名
k. 市立竜禅寺小学校	74名
l. 市立船越小学校	42名
m. 市立可美小学校	140名

n.静岡大学教育学部附属浜松中学校	175名
o.市立南陽中学校	33名

(3) 今後予想される効果

ア. 慰霊事業

一般戦災死没者の霊を慰めるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えていくためにも、慰霊祭をより多くの場所で引き続き実施し、出来るだけ多くの人々の参加を得ることによって、一般国民に対して平和への大切さを認識する機会を増やすことが出来ると予想される。

イ. 慰霊に関する講演会(語りべ会)の開催

戦争の悲惨さ、平和の尊さなどを後世に伝えていくためには、講演会や語りべ会を着実に継続して実施していく必要がある。今後は、出来るだけ多くの場所で開催するとともに、多様な方法で多くの国民に訴えることにより、参加者の増加が予想されるし、一般国民をはじめ、特に若年層への理解が深まることが予想される。

2. 本事業により作成した印刷物

・戦災死没者慰霊に関する講演会のしおり	1, 440部作成
・戦災に関する語りべ会のしおり	1, 500部作成

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 社団法人 日本戦災遺族会(ニホンセンサイイゾクカイ)
住所 : 102-0083
東京都千代田区麹町1-3 ダイアン麹町ビル 405
代表者 : 理事長 岩田 一夫(イワタ カズオ)
担当部署: 本部事務局
担当者名: 事務局長 杉山 栄司(スギヤマ エイジ)
電話番号: 03-3264-5287
FAX : 03-3264-5287
E-mail : es_izoku@nifty.com
URL : なし